



2022年10月3日

コスモ石油マーケティング株式会社  
コスモエネルギーホールディングス株式会社  
横須賀市

## 横須賀市公共施設に実質再生可能エネルギー電力を導入 ～「ゼロカーボンシティ」実現に向けた取り組みを推進～

コスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：森山 幸二、以下「コスモ石油マーケティング」）と横須賀市（市長：上地 克明）は、横須賀市の19の公共施設（※1）に2022年10月から、実質再生可能エネルギー由来の電力（以下「実質再エネ電力」）を供給開始することを合意いたしました。

横須賀市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることをめざす「横須賀ゼロカーボンシティ」の実現に向け、2022年3月、「ゼロカーボンシティよこすか2050アクションプラン」（以下「本アクションプラン」）を策定しました。この度、本アクションプランに基づき、公共施設における二酸化炭素の排出量削減を目的に、コスモ石油マーケティングの電力プラン「コスモでんきビジネスグリーン」（※2）を導入します。

この電力プランは、コスモエネルギーグループのコスモエコパワー株式会社（代表取締役：野地 雅禎）が発電する風力電源に紐づくトラッキング付非化石証書を組み合わせた実質再エネ電力プランで、公共施設の脱炭素化に寄与します。

この導入により、19施設の年間使用電力量約550万kWh（※3）が実質再エネ電力に代わることで、年間約2,468トンの二酸化炭素排出量を削減することができます。

今回の合意は、昨年度に販売を開始したコスモ石油マーケティングの商品「コスモ・ゼロカーボンソリューション」（※4）導入の一環として、地域特約店様と一体となってコスモ石油マーケティングが提案を行ってきた成果の一つです。

コスモ石油マーケティングと横須賀市は、脱炭素社会の実現に向け、より一層環境負荷低減を図るため、今後はEVを活用したカーシェアリングの取り組みなどについても協議してまいります。



横須賀市 自然・人文博物館

※1：別紙参照

※2：「コスモでんきビジネスグリーン」について

再生可能エネルギー指定の非化石証書等を使用して環境価値を付加することで、実質的にCO2排出量ゼロを実現するサービスです。お客様の年間合計販売量相当以上の非化石証書等を購入し、電気の販売にあわせて使用することで、使用電力のすべてが実質的に再生可能エネルギー由来の環境価値を持つ電気となります。2020年の販売開始以降、脱炭素化を目指す法人や自治体のお客様を中心に活用いただいております。

URL：<https://www.cosmo-denki.com/business/low/green/>

※3：2021年度の使用電力量実績

※4：コスモ・ゼロカーボンソリューションについて

URL：[https://ceh.cosmo-oil.co.jp/press/p\\_210915/index.html](https://ceh.cosmo-oil.co.jp/press/p_210915/index.html)  
<https://www.cosmo-denki.com/business/lp/solution/>

以上

別紙

コスモでんきビジネスグリーンを導入する 19 施設

No	施設名	CO <sub>2</sub> 排出削減量 (t)	電力使用量 (kWh)
1	青少年会館	40	89,275
2	坂本青少年の家	11	24,820
3	大津青少年の家	16	36,474
4	総合福社会館	402	899,440
5	中央斎場	314	702,954
6	健康安全科学センター	174	389,513
7	はぐくみかん	345	772,178
8	長坂埋立地浄化センター	240	536,515
9	日の出事務所	253	566,024
10	久里浜収集事務所	56	126,304
11-17	消防署・派出所（7施設）	374	835,434
18	自然・人文博物館	225	503,252
19	天神島ビジターセンター	18	39,599
		2,468	5,521,782

（参考）一般的な CO<sub>2</sub>削減施策とその効果。

施策	CO <sub>2</sub> 削減量/年
市公用車（350 台）を電気自動車に転換した場合	約 800 トン
全市立学校（72 校）の照明を LED 化した場合	約 370 トン
全市立学校（72 校）に太陽光パネルを設置した場合	約 2,200 トン
<b>【今回の取り組み】実質再エネ電力の導入</b>	<b>約 2,468 トン</b>